



のつどい

～共に考えよう！障害理解の促進、
学びの場の担い手の育成、学びの場づくり～

「障害があっても、ずっと学びたい！」 「学校卒業後も学び続けたい！」

共生社会や障害者の願いを実現するための第一歩として、「○(まる)のつどい」を開催します。
「○のつどい」とは、四国・九州・沖縄の3つのブロックの関係者が多様性を尊重し、あるがままの心で交流し、三位一体となった集いにしたいという思いを込めています。

2019年

12月21日

10:00～17:30

会場

愛媛大学
城北キャンパス

(愛媛県松山市文京町3)

※公共の交通機関をご利用ください

無料

共生社会や
障害者の生涯学習に
思いを寄せる、
あなたのご参加を
お待ちしております！

14:00～16:30

分科会

※参加・通訳は
要事前申込

18:00～20:00

懇親会

※要事前申込

全体会

手話通訳
PC要約筆記
あります！

10:00～12:30

- 知的障害者・発達障害者によるバンド演奏
『チャレンジステージ with 小松原 修』
- 開催趣旨説明:文部科学省
- シンポジウム

「地域社会におけるインクルーシブな学びとは」

- ・当事者の立場 あーさ氏(ADHDのあるマンガ家)
高橋 信行氏(NPO法人えひめ盲ろう者友の会会長)
- ・支援者の立場 小松原 修氏(佐賀県立うれしの特別支援学校教諭)
- ・社会教育の立場 関 福生氏(新居浜市生涯学習センター所長)
- ・コーディネーター 清國 祐二氏(香川大学教授)

13:15～13:45(昼休憩中)

- 肢体不自由者主体のミニラジオ番組

『エイブル・オン・ラジオ』

16:45～17:30

- 分科会報告

@グリーンホール

障害のある方、学びの支援者・関係者、障害者の学びに関心のある方など
都道府県・市町村職員(障害者学習支援担当、生涯学習、教育、スポーツ、文化・芸術、福祉、労働等)、
社会教育主事、公民館・図書館・博物館職員、特別支援学校等教職員、教職員経験者、
障害者の学習支援実践者(NPO等)、大学関係者、福祉サービス事業所職員、社会福祉協議会職員など

詳細・参加申込は
HPをご覧ください



http://www.karilab.jp/syogai_gakusyu

【お問い合わせ先】愛媛大学 教育学部 苅田 知則 研究室 事務局
TEL/FAX:089-927-9517
Mail:conference.maru@ed.ehime-u.ac.jp

分科会プログラム

※事前申込制・先着順

・分科会申込〆切:12月15日(日)

・詳細はHPでご確認ください

分科会1

発達障害者の
ライフスキル
トレーニング

【内容】

- ・事例発表
- ・指導者養成研修の疑似体験

【コーディネーター】

- ・NPO団体
志リレーションLab
(愛媛県)

【助言者】

- ・あーさ氏(愛媛県)

定員
50名

分科会2

地域施設・
公民館における
学びの支援

【内容】

- ・事例発表
- ・ディスカッション

【事例発表】

- ・NPO法人
エス・アイ・エヌ
(広島県)
- ・岡山市立上南公民館
- ・同公民館
オレンジクロバーの
会(岡山県)

【助言者】

- ・松田 弥花氏
(高知大学)

定員
40名

分科会3

重症心身障害
児者の
余暇活動支援

【内容】

- ・事例発表
- ・シンポジウム

【事例発表】

- ・社会福祉法人
キャンパスの会
(宮崎県)
- ・認定NPO法人
NEXTEP(熊本県)
- ・岩井 正一氏
(愛媛県重症心身障
児(者)を守る会長)

【コーディネーター】

- ・樫木 暢子氏
(愛媛大学)

定員
50名

分科会4

盲ろう者の
卒業後の
生涯学習

【内容】

- ・映画鑑賞
「もうろうをいきる」
- ・情報発信

【上映内容】

目が見えず、耳が聞
こえない、盲ろう者。盲
ろうの方たちは、指で
触れ合うことで世界と
つながっています。

【講師】

- ・高橋 信行氏
(NPO法人
えひめ盲ろう者友の会
会長)

定員
30名

分科会5

知的障害・
発達障害者の
就労・生活を
支える生涯学習

【内容】

- ・視察
- ・事例提供

【コーディネーター】

- ・株式会社
フェローシステム
(愛媛県)

❖集合後、
フェローシステムに
移動(徒歩5分程度)

定員
30名

※分科会以降で手話通訳等の合理的配慮が必要な方は、12月1日(日)までにHPでお申込みください。

情報拠点ブース

障害者の生涯学習を支援する取り組みや、
支援機器等に関する情報を展示します。

- 期間：12月4日(水)～23日(月) (火曜休館)
- 時間：10:00～16:30 (最終入館16:00)
- 場所：愛媛大学ミュージアム 多目的ルーム
- 入場：無料

障害支援機器 展示

- ・視線入力装置
- ・発達障害VR体験
- ・音声教材UNLOCK
- ・Cozy Room 等

上映会

- ・もうろうをいきる(91分)
12/ 7(土)・ 8(日)
14(土)・15(日) 各14:00～
- ・「見えにくさ」と
ともに生きる
(30分毎連日上映)

パネル展示

- ・障害者の生涯学習
支援に関する活動
- ・文部科学大臣表彰
対象事業紹介
(12/11～)

●主催：国立大学法人 愛媛大学、文部科学省

●後援：愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、今治市教育委員会、新居浜市教育委員会、東温市教育委員会、砥部町教育委員会、愛南町教育委員会、松山市社会福祉協議会、南海放送、テレビ愛媛、愛媛朝日テレビ、あいテレビ、愛媛CATV、NHK松山放送局、ハートネットワーク(全て申請中)

共に学び、生きる

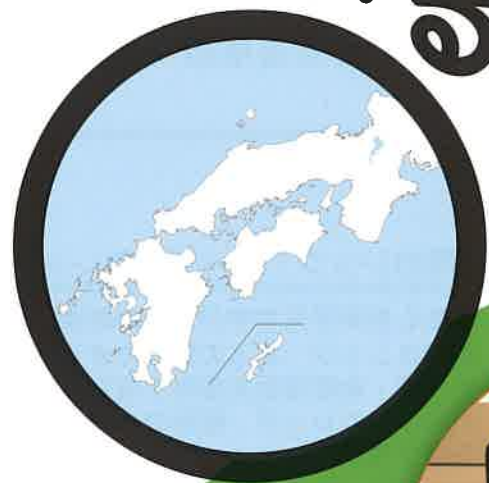
共生社会コンファレンス

ま
あ
の
つ
ど
い

のつどい

情報拠点ブース

障害者の生涯学習を支援する取組や、支援機器等に関する情報を展示します。



視線入力装置



ボイスルーラー



ボイスルーラー
アプリ版



音声教材 UNLOCK



Cozy Room



認定通信教育

日時：2019年12月4日(水)～23日(月)

場所：愛媛大学ミュージアム 多目的ルーム

協力：



愛媛大学ミュージアム
Ehime University Museum

主催

愛媛大学
文部科学省

後援

愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、今治市教育委員会、新居浜市教育委員会、東温市教育委員会、砥部町教育委員会、愛南町教育委員会、松山市社会福祉協議会、テレビ愛媛、愛媛朝日テレビ、あいテレビ、愛媛CATV、南海放送、NHK松山放送局、ハートネットワーク (全て申請中)

本事業は、文部科学省が実施する「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」事業を愛媛大学が受託し実施する一連の取組の一部です。

四国・九州・沖縄ブロックのコンファレンスを2019年12月21日（土）に開催します。そのコンファレンスにあわせて、障害者の生涯学習を支援・提供する支援機器や取組について情報発信することを目的として、本展を企画しました。

支援機器の例



視線入力装置

重度障害者用意思伝達装置。視線入力で画面を操作し、メール作成やリモコン操作ができます。



ボイスルーラー

発達障害者の支援機器。目で見て自分の声の大きさがわかる、声のものさしです。



GPS-VOCA

障害や病気などで会話が困難な方の支援機器。GPS等と連動し、その場に応じた言葉を発してくれます。

取組の例



訪問カレッジ・オープンカレッジ

重症心身障害児者等が対象の取組。
訪問カレッジ：本人の安心できる場所で学習・余暇活動支援等を個別に実施。
オープンカレッジ：個別の成果を集団の中で発表。



上映会「もうろうをいきる」

12/7（土）8（日）14（土）15（日）各14:00～

目が見えず、耳が聞こえない、盲ろう者。盲ろうの方たちは、指で触れあうことで世界とつながっています。



ブロック別
コンファレンスのご案内

手話通訳
PC要約筆記
あります！

全体会

- 知的障害者・発達障害者によるバンド演奏
チャレンジステージ with 小松原 修
- 開催趣旨説明：文部科学省
- シンポジウム
「地域社会におけるインクルーシブな学びとは」
- 肢体不自由者主体のミニラジオ番組
エイブル・オン・ラジオ
- 分科会（各分科会場）
- 分科会報告

@グリーンホール

2019年

12月21日（土） 10:00～17:30

会場

愛媛大学
城北キャンパス

無料

分科会 14:00～16:30

- 1：発達障害者のライフスキルトレーニング
- 2：地域施設・公民館における学びの支援
- 3：重症心身障害児者の余暇活動支援
- 4：盲ろう者の卒業後の生涯学習
- 5：知的障害・発達障害者の就労・
生活を支える生涯学習

※事前申込制（先着順）

プログラム詳細・参加申込は、こちらのHPをご覧ください

【お問い合わせ先】 愛媛大学 教育学部 苅田 知則 研究室 事務局
TEL/FAX：089-927-9517
Mail：conference.maru@ed.ehime-u.ac.jp

